

あゆみ通信

VOL.133

あゆみの会（真宗大谷
派大阪教区第2組同朋
の会推進員連絡協議会）
会長 浪花 博
広報 本持 喜康

新年のご挨拶

会長 浪花 博



皆さん、明けましておめでとうございます。私どものあゆ

みの会も結成12年を迎えます。皆様には往生浄土に生まれるために、お念仏をいただき、聞法に精進されていることとご推

察いたします。

往生浄土とは、釈尊が説かれた因縁生起の四法印にある涅槃寂靜「道理を見極めたならば完全な静けさ」が得られるところにあり、一切の苦より解放されて、心身の平安が得られると教えられています。

本年も、お念仏をいただいて聞法に精進する機会が多く設けられております。娑婆に居りながら、お互いに自分の生き方を見直し続けていきたいと思えます。また、一人でも多くの方に仏法のご縁をいただけるよう、お寺にお誘いしたいと存じます。

最後に、私どものあゆみの会がより良く魅力あるものにするために、皆様のご意見やご提案などを遠慮なくお聞かせいただくようお願いをして、ご挨拶に変えます。合掌。

12回目の総会開催

2019年12月22日(日) 午後1時30分から、阿倍野区法山寺をお借りして、あゆみの会総会が海老海恵幸組長（了安寺）、喜左上恵子組長補佐・同朋会推進員と藤井真隆同朋会推進員（即應寺）をお迎えして開催され、14名が参加した。事務局の進行で開会。真宗宗歌斉



唱。挨拶は浪花博会長（法山寺）と、来賓を代表して海老海組長からいただいた。

早速議事に入り、まず参加14名、委任状18名で成立を確認し、吉田副会長（法山寺）から、事業報告と事業計画案が説明され、異議なく承認された。主な



ものは、第2回例会は5月に開催の第2組日帰りツアー（高田派総本山参拝）に連動すること。また、教区内の組推協との交流も考えていくということを確認した。

続いて宮沢会計（即應寺）から、会計報告が、また監査報告を、監査



委員細川孝子さんの代理として細川克彦副会長から、あわせて予算案の提案が事務局からあり、いずれも異議なく承認された。

そのあと、あゆみの会と、大推協及び第2組の行事予定を確認して議事は終了した。

引き続き法話は、藤原智先生（法山寺衆徒・教学研究所助手）から、講題「立教開宗」についてお話をいただいた。（詳細は別項）



その後、先生を囲んで茶話会を持ち、吉田副会長の司会で質疑応

答や日頃の課題について参加者から発言があり、楽しいひと時を過ごせた。閉会は細川副会長からいただいて、最後に恩徳讃を斉唱して終了。新年明けて、また、元気に顔を合わせようと解散した。



今年もよろしくお願いします

会長 浪花博/副会長 細川克彦/同 吉田雄彦/同 本持 喜康/会計 宮沢 典男/相談役 中嶋ひろみ/監査委員 長野敏夫/同 細川孝子/常任委員 加藤徳江/同 遠藤佑宜子（敬称略）

一度立ち止まり

まずは、今年も「さるべき業延もよおせば」何があるかわかりませんがよろしくお願いします。

「生老病死」避けたくとも避けられない現実があります。

そこに求められるのは「堪忍」受け入れ耐え忍び堪忍していくということなのだと聞きました。



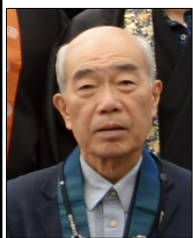
人間はこれまで、我慢しなくてもいいように、知恵を絞って、科学技術を駆使して、自然に抗して、エアコンや冷蔵庫にテレビやあらゆる電気器具などを作ってきたものの、未曾有の台風や地震災害が起こり、原発などが壊れ、長い仮設の生活を送ることになってきています。

いまあらためて、自身の関りを問い返してみる必要があります。

お正月の「正」は、「一」と「止」の組み合わせと教えられます。せかせかと忙しい日暮らしですが、お正月という年の初めに、一度立ち止まって自己を振り返り、仏さんならどういわれるのかを考えてみる時期だと教えられます。「お前、それでよいのか」心の奥底から法蔵菩薩の声が聞こえます。合掌。

如是我聞

佛足寺 細川克彦



藤原先生は「立教開宗」という講題で、『教行信証』や『和讃』、また法然上人の『選択本願念仏集』から多く引用されたレジメをご用意され、縷々お話いただいた。

本山では2023年に「宗祖親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が勤まるが、主著『教行信証』に「我が元仁元(1224)年…」



と記述されているのをもちつて立教開宗の年と見なされたと。次いで、親鸞聖人ご自身は、法然上人が浄土真宗を開いてくださったと『教行信証』後



序や『和讃』に述べておられる。また、鈴木大拙師は、法然上人と親鸞聖人で一つの仕事をされた。二人で一人の人格であると受け取らねばならないと話しておられると。

法然上人は立宗について、ある時「諸宗は凡夫が浄土に生まれるということを許していない。そこで善導の釈義によって浄土宗を興す(取意)(一期物語)と言われたと。



また『選択本願念仏集』には、戒律や布施、勉強、清浄な行い等では往生を得る者は少なく、往生できない者は多い。故に、弥陀如来は普く一



切を救いたいと、造像起塔等の諸行をもって往生の本願とされず、ただ称名念仏の一行



鈴木大拙師

をもつて本願とされたと記されていると。その選択本願こそが、行のできない者をこそ捨てないという如来の慈悲のまなざしによって、どんな人の人生も決して空しくない、意味ある人生にしていくと。親鸞聖人もお手紙で「浄土宗のなかに、真あり仮あり。真というのは、選択本願なり。仮というのは、定散二善なり。選択本願は浄土真宗なり」と言っておられると。

最後に、清沢満之師の言葉から「真宗大谷派は何処にあるのか」と自問され、「巍巍



清沢満之師

(ぎぎ)たるお堂(本願寺)がそれでもなく、300万の門徒がそれでもない。真宗大谷派なる精神のある所にある」と。お寺を維持することも大切であるが、そこで仏法を聞いていくことが大事であると話された。

お知らせ
7/25(土)の第2組聞法会「共に学ぶ正信偈」の会場は、専行寺(武石由美住職=天王寺区堂ヶ芝)に決まりました。

あゆみの会・大推協・第2組行事予定 2020 あゆみの会

○第1回例会

日時 3月30日(月) 13:30
会場 光照寺(天王寺区上汐)
講題 信心について
講師 澤田秀丸先生
(12組清澤寺前住職)

○第2回例会(第2組日帰りツアーに連動)

日時 5月26日(火) 詳細未定
行き先 浄土真宗高田派総本山

大推協

○公開講座

日時 3月9日(月) 14:00
会場 難波別院 同朋会館
講題 未定
講師 三好泰紹先生
(22組 蓮正寺住職)

○真宗本廟奉仕団

日程 4月8日(水)~9日(木)
同朋の会推進実行委員会と合同参拝

講師 相馬 豊先生(道場長)
参加費 13000円
勝算は別途ご案内。どなたでもご参加できます。

第2組(一部)

○第35回第2組同朋大会「真宗に出会う講演と木簡5重奏」

日時 3月7日(土) 13:30
会場 難波別院 同朋会館
内容 勤行、挨拶、法話、器楽演奏

講題 「願・自身(いのち)~人生ハ食、コレ道ナリ」

講師 酒井正夫先生
(三重教区・道浄寺前住職)
演奏 相愛大学木管五重奏
参加費 1000円(記念品有)

○第2組聞法会

日時 4月17日(土) 14:00
会場 紹隆寺(天王寺区堀越町)
講師 大橋恵真先生
(18組 遠慶寺住職)

参加費 500円

○第2組聞法会「共に学ぶ正信偈」

日時 5月23日(土) 14:00
会場 法山寺(阿倍野区天王寺町)
講師 新田 修巳先生
(4組 正業寺住職)

参加費 500円

(次号に続く)